

就労継続支援 B型事業所

ワーカーズホームからの最新情報をお届け

ばっぺーる通信

それで僕たちも風を集めて青空を翔けたいんです号

ばっぺーる通信とは…ワーカーズホームの活動報告やお知らせなどを皆さまへお伝えする通信です。興味を持って読んでくださったらうれしいです。そしてコーヒーを注文していただけたらもっとうれしいです。

ばっぺーる通信 Vol.10No.10 2023年2月1日発行

発行 一般社団法人むら 沖縄県宜野湾市大謝名 4-6-28 電話 098-955-1692



ばっぺーる出張Talk

自由に移動できるって幸せを
実感したこの最近のできごと

前フリなく始めますが1月後半から2月中旬まで移動の多い時期となりました。興奮冷めやらぬ状態ですが努めて冷静にその活動の報告をいたします。

移動その1 マイナス30度のモンゴル、ウランバートル

きっかけはそう、いつものノリでした。いつもお世話になっている三重ダルク代表の市川さんから「日本の薬物に問題ある人への支援をモンゴルの人たちに説明してほしいって依頼が来て、今度行くんだよね」と聞き、即座に「いいなあ、行ってみたいなあ」と何の気なしに口に出しました。で、その後色々あって呼ばれてもいないのに同行することになりました。現地では市川さんが法務省、リハビリ病院、医療刑務所でそれぞれ講演を行い、その中で私たちの活動の報告を致しました。観光のつもりでお気楽に行ったのですが、結果的には地元メディアに取り上げられ、



↑ウランバートルから医療刑務所に向かう途中、ゴビ砂漠に立ち寄りしました。マイナス30度のゴビ砂漠は息をするのもつらいほどでしたが、雄大な自然が広がっていました。

また、市川さんのところには次の講演の計画についての問い合わせが複数あり、なんだか大ごとになっていきます。このプロジェクトに関われることに感謝しています。

移動その2 おいしいものづくし三重

毎年会場でコーヒーを提供している三重ダルクフォーラムにメンバー4名、職員2名で今年も参加しました。今回は1日観光の日を設け、伊勢神宮やその周辺の食べ物やさんを観光しました。昨年までは五十杯ほど一度に入れられる機械でコーヒーを作っていました。「進化した私たちを見てもらおう」とカフェにあるハンドドリップの機材を持ち込み、一杯ずつ淹れました。来場者の皆さまからは「とてもおいしかった」と評判で、コーヒーを淹れたメンバーたちにとって自信につながったようです。フォーラムでは私たちの活動を報告いたしました。

移動その3 飛行機乗り換えて行った高知

昨年夏に私たちのカフェに視察、研修に来てくださった高知ダルクの方々から「カフェをオープンし、その記念にフォーラムを行う」ということで参加しました。県庁近くですがとても静かな



↑ネクタイしめてモンゴルの法務省で私たちの活動を紹介しました。



↑ひつじは頭がおいしいよ、ということで注文しました。見た目はアレですが、おいしかったです。

地域にあるカフェはメンバーの方々から内装作業を行なったそうです。店内は客席と厨房が完全に仕切られています。お客さまが来店すると緊張して息をするのも忘れてしまうウチのメンバーたちもこれなら安心して仕事ができるだろうな、と思いました。何しろウチのカフェはすべて丸見えですから。フォーラムでは、カフェに入りきらないほどの方々が来場し、またオンラインでもたくさんの方が参加する中、私たちが大切にしていることを報告する機会をいただきました。ワーカーズのメンバーにもこのカフェを見てもらえたら楽しいだろうな、と思いました。

内気で口べたなばっぺーるの店長にとって人前で話をするのはまあ、大変なことですが、私たちがやっている活動や、活動に際し大切にしていることを多くの方々を知っていただくことは必要で、今回その機会を与えていただいたことに感謝しています。機会があればこれからも発信していく所存です。そして告知を見て参加してくださった方々、本当にありがとうございます。参加者の中にも知っている方がいるってとても安心感があるし、なんだかうれしいことなんです。

「コーヒーのお買い求めはこちらから」



WHのウワサ…

マイナス30度を経験した店長、20度近くある沖縄は夏のようなTシャツと短パンで出勤しているとのウワサ